

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111B021		生徒指導論(進路指導を含む。)(Guidance of Pupil Personal Work)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部			氏名 長谷川 祐介 E-mail yhasegawa@oita-u.ac.jp 内線 7541											
授業の概要	学校教育における生徒指導に関する意義や児童生徒理解と指導の実践方法に関する学習を行い、進路指導ならびにキャリア教育の意義と指導に関する学習を通して、学校教員として求められる実践的指導力の基礎を培う。また受講生同士による意見交換等を通して、生徒指導や進路指導・キャリア教育における具体的な指導・支援の方法を、講師が主体的に考え、理解することを目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 生徒指導の意義と原理を理解できる。																	
目標2 学校におけるいじめや不登校など問題行動への対応について理論や指導方法を理解できる。																	
目標3 進路指導とキャリア教育の意義ならびに指導のあり方について理解できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 生徒指導とは何か：生徒指導の定義																	
2 生徒指導の構造：2軸3類4層構造																	
3 生徒指導の方法：児童生徒理解、集団指導と個別指導、ガイダンスとカウンセリング、組織的対応																	
4 生徒指導の基盤：同僚性、マネジメント、家庭・地域の参画、児童生徒の権利																	
5 生徒指導と教育課程：教科、道徳、特別活動等における生徒指導																	
6 生徒指導体制：生徒指導の組織、教育相談体制、危機管理体制																	
7 生徒指導に関する法令：校則、懲戒、体罰																	
8 問題行動への対応(1)：いじめ、不登校																	
9 問題行動への対応(2)：今日的な課題と関係機関との連携																	
10 進路指導・キャリア教育(1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け																	
11 進路指導・キャリア教育(2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育																	
12 進路指導・キャリア教育(3)進路指導・キャリア教育の指導体制																	
13 進路指導・キャリア教育(4)職業に関する体験活動																	
14 進路指導・キャリア教育(5)ガイダンス機能を生かした進路指導・キャリア教育																	
15 進路指導・キャリア教育(6)児童生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題への対応																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	学生のコメントペーパーへのリプライ、ディスカッション					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	教科書等の情報が必要に応じて予習する(22.5h)。															
	事後	教科書や参考書、授業で作成したノート等を用いて復習する(22.5h)。															
教科書	文部科学省(2022)『生徒指導提要(改訂版)』(デジタルテキスト, URL: https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf)																
参考書	文部科学省(2011)『小学校キャリア教育の手引き(改訂版)』教育出版 文部科学省(2011)『中学校キャリア教育の手引き(改訂版)』教育出版																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	課題レポート	40%															
	授業時のコメントペーパー	60%															
注意事項	授業中、よりよい環境で学習できるよう心がけること。																
備考																	
リンク																	
	URL																